

からまつキャンプ場の利用について

国立日高青少年自然の家からまつキャンプ場の利用について、新型コロナウイルス感染防止のために以下のとおり定めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、今後、国や道の方針、社会情勢等の変化にあわせて変更する可能性があることをご承知おきください。

1. 受入れの基準等

(1) 運 営 期 間：令和4年5月1日（日）～9月30日（金）

※5月中は土日祝日のみ宿泊可能

(2) 基準の該当期間：上記運営期間

(3) 受入対象団体：原則的に青少年を含む家族、1日当たり最大5家族まで

(4) 利用の制限等：①原則的に北海道に緊急事態宣言が発出された場合や国等から指示がある場合、受け入れを停止（休館）します。

②以下に該当する方（団体）はご利用をお断りする場合があります。

ア. 利用日及び利用初日から起算して5日以内に次のような症状や、濃厚接触者として経過観察の必要がある方

- ・37.5度以上の発熱がある場合
- ・平熱比+1度以上の発熱がある場合
- ・息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさがある場合
- ・軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ・その他体調がすぐれない場合

イ. 同居する家族に未診断の発熱等の症状がある方

ウ. PCR検査または抗原検査を受けることとなった方

エ. 利用者の居住している自治体に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発令されている場合

オ. 自治体から各種要請等がある場合

2. 新型コロナウイルス感染症対策と利用に当たってのお願い

国立日高青少年自然の家では、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるとともに、利用される全ての皆様に、以下のことをお願いしております。

<利用前>

①利用初日から起算して5日前から、全利用予定者に対し次の確認をしてください。

- ・朝、夕の検温
- ・1（4）②アに該当する症状の有無

※「健康確認シート（事前5日間）」をお送りしますのでご活用ください。

②次の物についてご用意ください。

- ・マスク：1人につき1日当たり1枚
- ・体温計：利用者個人が用意してください
- ・コップ：1人1個（うがい用）
- ・ゴミ袋：ゴミは全てお持ち帰りください
- ・緊急車両：自然の家では利用者の病院等への搬送を行いません。

<利用中>

①引率者へのお願い

- ア. 利用期間中、事務室への入室は、団体の引率者のみとしてください。
- イ. 団体の引率責任者は、利用者全員に対して、入所時、朝及び就寝前の検温と健康確認を行ってください。
- ウ. 検温や健康確認で異常等がみられた場合は、引率責任者は直ちに事務室に報告してください。
- エ. 石けんと流水による手洗い、うがいを徹底してください。
- オ. マスクは正しく着用してください。ただし、政府の方針を踏まえ、状況に応じて適切にマスクの着脱を行ってください。
- カ. 近距離での会話や発声、高唱は避けてください。また、手の届く距離に多くの人が集まる活動は避けてください。
- キ. 共有スペースでは人の密度を下げるよう努めてください。

②物品等の貸出しについて

- ア. テント、寝袋は貸出し可能ですが、持ち込みを推奨します。
- イ. 炊事・調理器具等は貸出し可能ですが、持ち込みを推奨します。
- ウ. 貸出用寝袋を利用する場合は、寝袋用シーツ洗濯料300円/個がかかります。
お支払い方法はコンビニ払い（手数料：8/31まで100円、9/1から140円）となります。

③食事等について

- ア. 本館レストランは利用できません。
- イ. 野外炊事メニュー、薪、炭の販売はいたしません。食材等はお持ちください。
- ウ. ゴミは全てお持ち帰りください。
- エ. 敷地内は禁煙、飲酒禁止です。

④入浴について

- ア. 本館の浴室は利用できません。
- イ. キャンプ場内シャワー棟の利用時間を団体ごとに指定させていただきます。

⑤研修・活動プログラムについて

- ア. 職員によるテント設営等の指導はいたしません。
- イ. 本館研修室等の利用はできません。
- ウ. 身体接触や「3密」につながる活動はご遠慮ください。

2022年7月31日

※実施可能なプログラム等については、別紙「日帰りプログラム紹介」を参照ください。

<利用後>

利用後5日以内に新型コロナウイルスへの感染疑いによるPCR検査を受検した場合は、速やかに自然の家にお知らせいただきますようお願いいたします。

国立日高青少年自然の家

電 話 01457-6-2311

メ-ル hidaka-hp@niye.go.jp

WEB <https://hidaka.niye.go.jp/>